

行事報告書(研修)

報告者：溝部浩二

行事名	会員相互研修	
実施日時	平成26年8月13日(水曜日) 10時～15時15分	天候:曇り時々晴れ
場所	「アプリ甲東」集会室	
テーマ	会員相互研修	
講師	飯盛秀穂さん、児玉勝久さん、溝部浩二さん、木村俊三さん、大橋正規さん、永野 徹さん	
参加者数	35名	
内容 (項目と概要)	<p><10:00～12:00></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「展葉フェノロジー・今年の観察結果」 飯盛秀穂さん 今年から始めた当クラブによる甲山森林公園の展葉調査について、経緯・結果報告のほか、来年度に向けた課題について説明があった。 ・「植物の新しい分類—APG分類への移行」 児玉勝久さん 植物分類体系の考え方の解説のあと、DNA解析による分類方法であるAPG分類について、具体的例示による説明があった。新しい体系であるAPG分類への移行は時間の問題とのこと。また、APG分類で作成された植物図鑑の紹介もあった。 ・「六甲山山上の植物達」 溝部浩二さん 今年6月に行った宝殿橋～山頂～六甲ケーブル山上の間の植物観察の記録である。冷温帯に生きる植物を含め、木本中心に約60種類の写真記録の説明があった。 <p><12:00～13:00> 昼食休憩</p> <p><13:00～15:15></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虫こぶ—植物と昆虫の不思議な世界」 大橋正規さん さまざまな樹木に寄生する虫こぶについて、写真を使って分かりやすい説明があった。植物と昆虫が共生関係にあるのはイヌビワくらいで、虫こぶの寄生は、多くの樹木にとってメリットがあるのだろうか。 ・「逆瀬川と水生生物」 木村俊三さん 武庫川へ流れ込む支流の一つである逆瀬川が、過去に如何に「あばれ川」だったか、分かりやすい解説があった。その堰堤下の小さな溜りで、数年かけて観察した水生生物の説明があった。 ・「歴史探索の旅(北九州編)」 永野 徹さん 副題は「魏志倭人伝のルートを辿る三千里」。北九州一円の古代遺跡を巡る3日間の旅を行って、各地に残る魏志倭人伝が伝える墓や資料館などをきめ細かく訪ねた記録の報告があった。 	
まとめ 感想	お盆休みにもかかわらず、参加いただいた講師はじめ会員の皆さんに感謝します。講師の方々の貴重な話を聞き、多方面で関心を深めることができました。	

